

2020年2月度理事会報告

[2020年2月7日(金) 14:30～16:10 於TV会議]

[審議事項]

1. 意見書の提出

以下の6件の意見書提出につき、内容を審議し、承認した。

1) インドネシア知的財産総局長宛「インドネシア特許法第20条他に対する要望書」(2/1提出済)

担当理事名 [国際第4委員会、アジア戦略プロジェクト]

- 第20条(国内実施義務):当該制度の廃止 or 制度維持する場合でも提出書類の簡素化等 手続緩和を要望.
- 第82条(強制実施権):強制実施権発動前の①事前通知、同②特許権者・代理人への説明聴取手続、にかかる明文化等を要望.

2) 特許庁 制度審議室宛「特許法等の一部を改正する法律の施行に伴う意匠登録令の規定の整備及び経過措置に関する政令案」に対する意見募集に対する意見 (2/5提出済)、担当副理事長名 [意匠委員会]

- 拡充された関連意匠制度により、専用実施権の登録を申請しようとする基礎意匠等に類似しない関連意匠まで専用実施権を設定する必要は無い。今後同制度により権利化される意匠権の実態に基づき適宜見直し頂きたい。

3) 特許庁 意匠審査基準室宛「意匠法施行規則の一部を改正する省令案」に対する意見募集に対する意見 (2/14期限)、担当副理事長名 [意匠委員会]

- 保護対象の拡充に係る規定の整備案につき、【意匠に係る物品】を【意匠に係る物品又は建築物、画像、内装の意匠の用途】等に適宜改めるよう要望。

4) (一社) Japan Innovation Network 西口尚宏 代表理事* 宛「IP management 国際標準 (ISO 56005) への対応の件」(2/7提出)、申請元：第四次産業革命PJ (標準分科会) * ISO/TC279 日本代表委員

- 本規格は普遍的なものではなくISO56002に規定されたイノベーションマネジメント手法を取り入れた際の知財マネジメントであるように表現する修正には、積極的にサポート
- 内容の削除については賛成、内容の追加についてはできる限り反対
- 日本案で指摘した箇所にも他国からも意見が出ている場合は、日本案趣旨に沿う範囲内で他国案も活用して対応

5) WIPO 宛「Draft Issues Paper on IP Policy and AI」(12/13付)に対するコメントと提案 (2/14期限) 理事長名 [WIPO プロジェクト]

- AIにより自律的に生成された発明・(文学/芸術)作品・意匠について、AIを発明者・創作者と認定しその保護の立法化等の施策を導入することは、未だ時期尚早。産業政策的観点・文化政策的観点から広く深い検討が必要。

6) 内閣府 知的財産戦略推進事務局宛「知的財産推進計画2020」策定に向けた意見 (2/17期限)

理事長名 【電子審議】2/12～2/14 予定

- 意見集約のプロセスと電子審議にて審議することを承認。

2. 2020年度 業種担当役員

2020年度の業種別部会の担当役員8名を承認した。4月1日から活動開始いただく。

3. 入会 次の2件の正会員入会と3件の賛助会員入会につき、審議し、承認した。

〈正会員〉

1) 株式会社 SOKEN (2019年10月1日付入会希望)

主業務 パワートレイン、パワーエレクトロニクス、電池、熱システム、情報安全の研究事業
 希望所属業種 関東電気機器部会 第1分科会
 会員代表予定 研究企画室長 西脇 豊治 氏
 推薦者 株式会社デンソー 山中 昭利 氏

2) ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社 (2020年4月1日付入会希望)

主業務 電気通信機器販売およびサービス
 希望所属業種 関東電気機器部会 第2分科会
 会員代表予定 Head of Nokia Technologies Japan 守屋 文彦 氏
 推薦者 KDDI 株式会社 川名 弘志 氏

〈賛助会員〉

1) 国立大学法人 東京工業大学 (2019年10月1日付入会希望)

会員代表予定 研究・産学連携本部 副本部長 知的財産部門長 武重 竜男 氏
 推薦者 キヤノン株式会社 長澤 健一 氏

2) Patentfield 株式会社 (2019年10月1日付入会希望)

会員代表予定 共同CEO 石津 孝祐 氏
 推薦者 パラマウントベッド株式会社 堀口 浩 氏

3) Mehta & Mehta Associates (MehtaIP) (インド) (2020年4月1日付入会希望)

会員代表予定 Principal Attorney Ankush Mehta 氏
 推薦者 株式会社日立製作所 戸田 裕二 氏

[報告事項]

2020年2月7日現在の会員数= 全1,337社
 (内訳: 正会員 979、賛助会員 358)

4. 退会等

〈賛助会員〉

1) 高田国際特許事務所 (2020年3月31日付)

5. 主要施策の活動

(1) 政策プロジェクト活動報告

1) アジア戦略プロジェクト: 第9回全体会合 (1/28@JIPA)

(i) 第1WG (東アジア対応)

(i-1) 中国模倣品対策SWG (IIPPF 中国PJ 交流G対応)

★新型コロナウイルス関連感染症のリスクを鑑み、以下①②の中止を決定した。

①IIPPF 中国 PJ 交流 G 官民合同実務レベルミッション (2/11～13：北京派遣予定)

②中国税関総署 招聘事業におけるセミナー・意見交換会 (2/25 予定)

これまで準備したテーマについては、来年度も視野に入れて日程を再度調整するか、書面での交流などを模対室および JETRO と模索中。

- ・ IIPPF 企画委員会 (2/4)

(i-2) 法改正 SWG

★新型コロナウイルス関連感染症の影響を勘案し、中国訪問代表団 (3/22～26 予定) はペンディングとする。2月末を目途に収束状況を確認し、派遣の可否決定／アポ取りの検討を行う。

- ・ 台湾 関務署との意見交換 (2/4)

(ii) 第2WG (ASEAN・インド対応)

- ・ デリー税関と意見交換 (1/30)
- ・ インドネシア特許改善要望書準備
- ・ インド訪問団 (3/2～6 予定) 準備
- ・ タイ・カンボジア訪問団報告書作成

2) 日中企業連携プロジェクト

★新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、本年度日中企業連携会議 (①②③) の延期を決定した。

①東京会議 (3/17 予定)：北京市外事弁公室の指示により、当面の間、北京市の各団体の海外渡航が禁止されている状況のため中国専利協会 (PPAC) から延期または中止の打診あり。

②広州会議 (3/20 予定)、③IP Work Shop (3/23 予定)

延期時期については東京、広州両会議共 未定。

3) 国際政策プロジェクト

★新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2月開催予定だった GDTF/ICG 会議の延期が決定したため、派遣を中止する。

- ・ 特許庁打合せ (1/29@特許庁)：GDTF/ICG 会議 (2月開催) の準備

- ・ 第4回全体会合 (1/30@JIPA)：GDTF/ICG 会議 (2月開催) の準備

実体ハーモ WG 会合 (1/21@昭和電工)

4) JIPA 知財シンポジウムプロジェクト：第6回全体会合 (1/28@東京国際フォーラム)

★新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、以下①②を決定した (2/13)。

①参加者全員にマスク着用にて来場頂く点

②夕方レセプションは中止 (会費は全額、返却)

- ・ 全体情報共有、当日タイムスケジュールと役割確認等、会場下見

- ・ 東京国際フォーラム関係者と事務局の打合せ (1/27@東京国際フォーラム)

5) 次世代コンテンツ政策プロジェクト

WIPO 「Draft Issues Paper on IP Policy and AI」(2019/12/13 付)の内容確認

6) 知財活性化プロジェクト：全体会合 (1/16@JIPA)

開催報告の取りまとめに向けた検討。

7) 第4次産業革命(4IR)プロジェクト

分科会リーダー会 (1/10@JIPA)：各分科会の情報共有及び来年度の方向性について検討

- ・2019年度活動報告を4月度理事会にて各分科会5分内で行う(後日「会員専用ページ」に掲載)。
- ・2020度の継続要否

活動終了：AI分科会、新ビジネス分科会

活動継続：標準分科会、オープン・イノベーション分科会(年度途中でまとめる)、社会と法制度分科会(特許制度WGを理事長直轄にする等体制を見直して継続)、パテントプール分科会

(i) AI分科会：第4回会合(1/23@日立製作所)：テーマ「AI×人財」で(株)エクサウィザーズの石山社長による講演。AIによる介護支援、(成人発達理論に基づく)社会貢献したい人をリクルートするツール、プレゼンを効果的に行う「イシヤマくん」の紹介など。

(ii) 標準分科会：

- ・講演会「ここが知りたい！国際標準の基礎」(3/16開催)の案内を実施(1/20)。現在応募数45人/定員50名(1/30時点)
- ・ISO56005ドラフトに対する各国意見(399件)への対応について検討会開催(1/17)。本理事会での審議後に日本事務局へ意見提出。

(iii) 新ビジネス分科会：第4回会合(1/30@JIPA)：12月に実施した農林水産省、オランダ応用科学研究機構(TNO)へのヒアリング結果の共有とともに、スマート農業の発展に向けた考察について議論

(iv) オープン・イノベーション分科会：第4回会合(1/23@JIPA)：事例を分析するための4象限の軸(同業や異業種の区分など)などについて意見交換

(v) パテントプール分科会：第4回会合(1/28@日立製作所)：経営セミナーでの加藤専務によるプラットフォーム知財、長澤常務によるインフラ知財の概念を共有。競争力強化のためのプールと、WIPO GREENの活性化のためのプール形成の2方向について議論を行った。

(vi) 社会と法制度分科会：特許制度WG

①産構審 #36 特許制度小委員会(1/24)でJIPA意見『「AI・IoT技術の時代にふさわしい特許制度の検討課題に対する提案募集」に係る提案・意見』を紹介した。WGにて資料をレビューした。

#36小委の結果を受け、紛争処理に関する主要論点について、JIPAとしての意見案の検討を進める。

②田村善之教授(東大大学院 法学政治学研究科)から損害賠償制度等についての講話を受け、意見交換した(1/27@JIPA)。

8) WIPO プロジェクト：第9回会合 (1/29@JIPA)

WIPO「Draft Issues Paper on IP Policy and AI」へのコメント・提案募集に対するJIPA意見とりまとめ
WIPO会議へのスピーカー派遣(WIPO・WJO依頼)

日程：2020年8月～10月@チリ サンチアゴ(旅費自弁)

会議名：Management of IP created directly by governments or with government support

講演タイトル(仮)：政府系研究機関又は大学で生み出された知財を活用した民間企業の成功事例(商業化の成功事例)

(2) 審議会への参画

- 1) 産構審 特許制度小委員会 (1/24 第 36 回)
 亀井 正博 参与 (JIPA および経団連からのオブザーバ枠で参画)
https://www.jpo.go.jp/resources/shingikai/sangyo-kouzou/shousai/tokkyo_shoi/36-shiryu.html
- 2) 産構審 意匠制度小委員会 意匠審査基準ワーキンググループ (1/22 第 19 回)
 神田 栄美子 委員長/意匠委員会
https://www.jpo.go.jp/resources/shingikai/sangyo-kouzou/shousai/isho_wg/19-shiryu.html

(3) その他の活動

- 1) ライセンス第 2 委員会：国際産官学連携に関するアメリカ調査団報告
- 2) 人材育成委員会：進捗報告

6. 委員・講師等 派遣

(1) 委員派遣 次の委員を派遣する。

1) 特許庁 総務部国際協力課「①令和 2 年度 知的財産保護包括協力推進事業、②令和 2 年度 産業財産権人材育成協力事業の各委託先の選定委員」

永野 大介氏/事務局 政策グループリーダー

2) 公益財団法人 大学基準協会「令和 2～3 年度 知的財産専門職大学院認証評価委員会委員」

伊藤 寛氏/事務局長代行

7. 事務局から

1) 3 月度理事会： 関西事務所で開催

2) 2020 年度定時社員総会の開催 (当初予定から日程を変更)

・日時 2020 年 6 月 2 日 (火) 14:00～17:00、懇談会 17:15～18:45

・会場 ホテル椿山荘東京 (東京都文京区)

※時間変更になる可能性があるため、5 月に送付する案内 (正会員には郵便、賛助会員には電子メールにて送付) を必ず確認のこと

3) 政策動向

デジタル市場競争本部・デジタル市場競争会議で「特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律案」概要を決定 (1/28)。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/digitalmarket/kyosokaigi/dai3/index.html>

以上